

## 2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東  
 コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉藤 淳 TEL 03-6415-1183  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,498	1.3	662	37.9	658	37.4	415	26.3
2023年9月期第3四半期	3,454	41.6	480	123.2	479	121.7	329	118.2

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 422百万円 (25.5%) 2023年9月期第3四半期 336百万円 (119.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	30.31	—
2023年9月期第3四半期	23.66	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,685	2,394	63.4
2023年9月期	3,884	2,249	56.5

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 2,334百万円 2023年9月期 2,195百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2024年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	5.3	800	32.4	800	32.9	520	△10.3	37.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	14,575,300株	2023年9月期	14,575,300株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	1,054,988株	2023年9月期	654,988株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	13,721,090株	2023年9月期3Q	13,920,312株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される中、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響及び海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっていることや、物価上昇、情勢不安、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要があります。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響についても留意する必要があります。依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「プロモーション支援事業」「メディア事業」「ソリューション事業」の業容拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、「アクセルジャパン」が好調に推移し、営業利益が既に前期の通期実績を上回る業績となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高3,498百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益662百万円（同37.9%増）、経常利益658百万円（同37.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益415百万円（同26.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### [プロモーション支援事業]

プロモーション支援事業では、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、「アクセルジャパン」が好調に推移し、前年同期比50%以上の増収・増益となり、業績拡大を続けております。新規売上の増加を実現するため、九州エリアに続いて、北海道、東北及び四国エリアでも販売を開始し、より一層増加するクライアントニーズに応えるため、幅広いジャンルのアンバサダーを追加いたしました。また、充実したカスタマーサクセスによって更新売上が好調に推移しております。

以上の結果、プロモーション支援事業は、売上高1,187百万円（前年同期比56.1%増）、セグメント利益428百万円（同51.7%増）となりました。

#### [メディア事業]

メディア事業では、無料で読める電子雑誌を制作・発行し、クライアント企業へ当社電子雑誌への広告掲載や、電子雑誌の制作受託といったサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、電子雑誌「旅色」の地方自治体とのタイアップ広告の売上が減少しましたが、一方で国内旅行需要と、円安による訪日旅行需要の増加によって市場環境が改善し、宿泊施設や飲食店などの民間企業の広告売上は増加いたしました。新卒社員の入社に伴う人件費の増加があるものの、制作原価及び広告宣伝費等が減少したことにより利益率が向上し、増益となりました。

以上の結果、メディア事業は、売上高1,559百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益201百万円（同9.3%増）となりました。

#### [ソリューション事業]

ソリューション事業では、ECサポートやウェブサイト制作・運営等の各種ソリューションサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、売上高が減少したものの、業務効率化による販売費及び一般管理費の減少により、利益率が向上し、増益となりました。

以上の結果、ソリューション事業は、売上高699百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益154百万円（同28.3%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,685百万円となり、前連結会計年度末に比べて199百万円の減少となりました。当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

（流動資産）

流動資産は2,968百万円となり、前連結会計年度末に比べて85百万円の減少となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が295百万円増加した一方で、自己株式の取得や長期借入金の返済により現金及び預金が391百万円減少したことによるものであります。

（固定資産）

固定資産は716百万円となり、前連結会計年度末に比べて114百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が7百万円、無形固定資産が8百万円増加したものの、繰延税金資産の減少により投資その他の資産が130百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

流動負債は1,145百万円となり、前連結会計年度末に比べて149百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が35百万円、契約負債が26百万円、買掛金が11百万円、その他の負債が63百万円減少したことによるものであります。

（固定負債）

固定負債は145百万円となり、前連結会計年度末に比べて194百万円の減少となりました。これは、長期借入金の返済を行ったことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は2,394百万円となり、前連結会計年度末に比べて144百万円の増加となりました。これは主に、自己株式の取得による277百万円の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が415百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,856,549	1,465,146
売掛金及び契約資産	1,150,150	1,445,636
前払費用	83,205	116,607
その他	34,082	20,732
貸倒引当金	△70,461	△79,934
流動資産合計	3,053,526	2,968,189
固定資産		
有形固定資産	23,831	31,316
無形固定資産		
その他	60,847	69,564
無形固定資産合計	60,847	69,564
投資その他の資産		
繰延税金資産	697,381	560,604
その他	49,308	55,480
投資その他の資産合計	746,690	616,085
固定資産合計	831,369	716,965
資産合計	3,884,896	3,685,155
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	141,715	130,216
短期借入金	408,755	373,755
未払金	167,245	173,682
未払法人税等	75,611	71,485
契約負債	217,999	191,696
預り金	26,428	21,554
賞与引当金	112,826	102,309
その他	144,113	80,650
流動負債合計	1,294,697	1,145,350
固定負債		
長期借入金	340,200	145,300
固定負債合計	340,200	145,300
負債合計	1,634,897	1,290,650
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	621,052	621,052
資本剰余金	1,021,448	1,021,448
利益剰余金	1,042,497	1,458,452
自己株式	△493,361	△771,073
株主資本合計	2,191,637	2,329,879
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,158	5,093
その他の包括利益累計額合計	4,158	5,093
非支配株主持分	54,203	59,530
純資産合計	2,249,999	2,394,504
負債純資産合計	3,884,896	3,685,155

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,454,863	3,498,862
売上原価	985,299	868,861
売上総利益	2,469,564	2,630,000
販売費及び一般管理費	1,989,073	1,967,606
営業利益	480,490	662,394
営業外収益		
受取利息	22	37
受取給付金	317	—
還付金収入	734	—
雑収入	53	172
営業外収益合計	1,128	210
営業外費用		
支払利息	2,467	2,808
自己株式取得費用	—	833
為替差損	5	616
営業外費用合計	2,472	4,257
経常利益	479,146	658,346
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	479,146	658,346
法人税、住民税及び事業税	54,238	100,287
法人税等調整額	88,521	136,777
法人税等合計	142,760	237,065
四半期純利益	336,386	421,281
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,970	5,326
親会社株主に帰属する四半期純利益	329,416	415,954

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	336,386	421,281
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	154	935
その他の包括利益合計	154	935
四半期包括利益	336,540	422,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,570	416,890
非支配株主に係る四半期包括利益	6,970	5,326



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式400,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が277,712千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が771,073千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	23,486千円	26,279千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーション 支援事業	メディア 事業	ソリューション 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	760,317	1,723,909	746,760	3,230,987	223,875	3,454,863	—	3,454,863
外部顧客への売上高	760,317	1,723,909	746,760	3,230,987	223,875	3,454,863	—	3,454,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	57,366	57,366	△57,366	—
計	760,317	1,723,909	746,760	3,230,987	281,242	3,512,229	△57,366	3,454,863
セグメント利益	282,323	184,279	120,540	587,143	51,933	639,076	△158,585	480,490

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)CrowdLabにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△158,585千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーション 支援事業	メディア 事業	ソリューション 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,187,079	1,559,175	699,828	3,446,083	52,778	3,498,862	—	3,498,862
外部顧客への売上高	1,187,079	1,559,175	699,828	3,446,083	52,778	3,498,862	—	3,498,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	52,940	52,940	△52,940	—
計	1,187,079	1,559,175	699,828	3,446,083	105,718	3,551,802	△52,940	3,498,862
セグメント利益	428,298	201,474	154,695	784,468	33,641	818,109	△155,715	662,394

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)CrowdLabにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△155,715千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。